



# シルバー高島

発行/(社)高島市シルバー人材センター 広報部会 滋賀県高島市勝野1365 TEL (0740)36-8191 FAX (0740)36-8010



写真提供/有田 邦雄

## 年頭のご挨拶

理事長

金 矢 健 一



新年明けましておめでとうございます。  
どうぞございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、当センターの事業運営に格別のご理解、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

高島市シルバー人材センターが平成十七年四月に発足して、早や一年九か月が過ぎました。六か町村時代に築かれた輝かしい実績を基盤に、統合後は役職員を始め会員各位の、ご尽力によりまして事業は順調に推移しておりますこととはご同慶の至りと存じ上げます。

ご承知のとおりシルバー人材センターは、永年に亘って培われてきた知識や技能、経験を生かしながら、働くことを通じて、健康を維持し生きがいを求める高齢者に応じた就業の機会を提供し、地域社会にも貢献出来る事業運営を展開しているものであります。

団塊の世代が今年度から定年退職を迎え高齢者の仲間入りとなりますと、高齢化社会は益々進ん

でいくこととなります。従って、当センターとしては、この様な人々を含め、今後働く意思のある高齢者の就業受け入れ体制の強化を図らなければなりません。更に、就業機会の均等や、安全就業・適正就業、会員の加入促進等々重要課題も山積しています。これらの課題に向かって本年も役員が一丸となって取り組んで参る所存でございます。

さて、先般当センターでは、今日までの安全・適正就業委員会の他に、総務部会、事業部会、広報部会、独自事業部会を立ち上げる事となり、組織だった事業運営を一層強化し推進することになりました。早速広報部会がこの度広報誌「シルバー高島」創刊号を発行されました。喜ばしいことです。今後この広報誌を通じて当センターの事業内容を会員各位や地域社会に広く周知し或いは意見・要望・趣味等を取り入れた親しみのある内容となつて、これが当センターの事業運営上に益々活気付けられ円滑に推進されれば幸甚であります。更なるご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に会員の皆様が、自主・自立・共働・共助の理念を基にして健康で楽しく安全に就業できる年でありませう、そして皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



### 新年のご挨拶

高島市長

海東英和

新年明けましておめでとうござ  
います。

平成十九年の年頭に当たり、謹  
んで新春のお慶びを申し上げます。

平素、皆様方には、高齢者の  
方々の就業促進をはじめ、市政の  
各般にわたり、格別のご理解とご  
協力を賜っており、厚くお礼を申  
し上げます。

わが国では、出生率の低下や労  
働人口の減少、そして、高齢者人  
口の増加と、これまで経験したこ  
とのない時代を迎えています。

特に高島市では、六十五才以上  
の人口が全体の二十五・六%と四  
人に一人は六十五才以上の方々で  
滋賀県の市の中で第一位の高齢化  
率となっております。

また、団塊の世代の退職に伴  
い、労働力人口が一層減少する中  
で、将来の経済社会の維持、発展  
させるためには、高齢者の方々  
が培ってこられた技術と経験を生か  
し、意欲と能力のある限り、年齢  
にかかわらず働くことのできる  
社会を構築することが重要な課題  
となっております。

このため、市におきましては、  
高齢者がいきいきと暮らせる社会  
づくりを進めており、高齢者の生  
きがいづくりと社会参加を促進す  
るため、高島市シルバー人材セン  
ターの活動を積極的に支援すると  
ともに、市政のあらゆる分野で、  
市民がお互いに助け合い支え合う  
地域のネットワークづくりに力を  
注いでいるところであります。

どうか皆様方には、高齢者の  
方々のすばらしい経験と能力を地  
域に還元できるように更に充実し  
た活動の展開や次世代への継承や  
育成に活躍され、共に助け合い、  
健やかな人生が送れる高島の創造  
に一層のご尽力を賜りますようお  
願い申し上げます。

終りに、社団法人高島市シル  
バー人材センターのますますのご  
発展と、今年  
一年の皆様方  
のご健勝とご  
活躍を心から  
祈念申し上げ  
まして、新年  
のご挨拶とい  
たします。



### 総務部会が発足しました

総務部長

田中 肇



去る十月十七  
日(火) 総務部

会の初会議が行われました。

総務部会の構成は、理事三名と  
各地区班長、また総括班長で構成  
されます。

会議の雰囲気は大変なごやかで、  
しかも活発な発言を多く頂きまし  
た。

特に各地区の実情から班長さん  
の日頃の苦しみや困っておられる  
事柄が報告され、仕事のないのも  
困るが、仕事を割り振って行くご  
苦労を聞かせてもらったことは、  
大変意義のある会議だと思いまし  
た。

何とか皆さんに公平・公正に仕  
事の配分をしようと努めていらっ  
しやる実情と、その悩みを語られ  
た班長さんのご苦労を感じまし  
た。

今後、適正就業と安全・安心な  
作業の実施を目指して班長さん方  
の積極的なご意見を頂き、皆さん  
の問題点を共有しながら日常の仕  
事に生かしていただけるように、総務  
部会の活動に努めて参りたいと考  
えています。

### 事業部会からのお願い

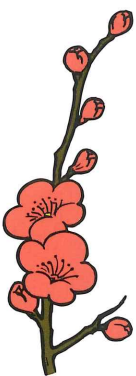
事業部長

平井弘美



新年明けまし  
ておめでとうござ

います。会員の皆様方、幸多く  
を願い新春を迎えられた事と存じ  
ます。(社)高島市シルバー人材  
センターも統一後、五百余名の会  
員を有し、センターの業績も昨年  
を大きく上回っていると承知して  
います。これもひとえに会員一人  
ひとりの努力のたまものと思いま  
す。そんな中、統一はしたものの  
各地区の仕事、対応がまちまちの  
状態でした。そこで今後、五つの  
部会を設立し、その中の一つ「事  
業部会職群班」が結成されまし  
た。趣旨は「会員の仕事の進行、  
共働・共助の心を培い、技術・技  
能の習熟を見極め適材・適所にか  
つ平等に調整する」以上を目的と  
した部会です。会員皆様方の調整  
役として微力ながら頑張る所存で  
ますので皆様方の御協力をお願い  
します。会員皆様方のご多幸とご健  
勝をお祈り致します。



### 広報部誕生に寄せて



広報部長  
前 河元次郎

今般、当シルバー人材センターにおきましては、各専門部会を設立して、事業の的確な運営と拡充強化を図ることを目指しました。

それに伴い広報部会も誕生し、図らずも部長に推挙されました。部員や会員の皆さんのご支援・ご協力により、この重責を果たしたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、広報の発行について週日部会を開催し協議しましたところ、当人材センターの事業内容や実施状況、さらにはその結果等々あらゆる内容を会員の皆さんや地域社会に対して、広く周知して戴けるよう定期的に発行することにいたしました。

創刊号は、市長さんのお言葉や、当シルバー人材センターの役員等の挨拶を掲載します。そして、面の許す範囲で最近の事業内容や実施状況等をお知らせ致します。次号からは、事業にかかわる内容に加えて会員さんのご意見や、

仕事の発注者の声も掲載したいと考えています。

また、経費の都合にもよりますが、「会員の広場」的なスペースも設け、会員さんの自由なご意見や文芸的なものも載せて行きたいと存じますので、積極的なご投稿をお願い申し上げます。



### 安全適正就業に寄せて



安全適正就業委員長  
早藤 隆生

去る十二月七日、委員会の席

で委員長に選任されました。今後は委員や会員の皆様方のご指導・ご協力を受けながら重責を果たしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

さて、安全・適正就業に関する

事柄は各現場で就業する際には、最優先に考えて行動してください。

今年度は皆さんの注意と自覚によりまして大きな事故はありませんが、会員個々ではヒヤリとしたこと、ハツとしたことが数々あったことと思います。

事故にならない小さな事が、今後大事故につながる要因がひそんでいることを考えていただいで十分に注意する必要があると思えます。

委員会といたしましても、各支所班長・新入会員への指導、作業現場へのパトロール・巡回指導などを計画し、就業事故「ゼロ」を目指して全員で頑張りたいと思えますのでよろしく申し上げます。



### 独自事業のあり方について

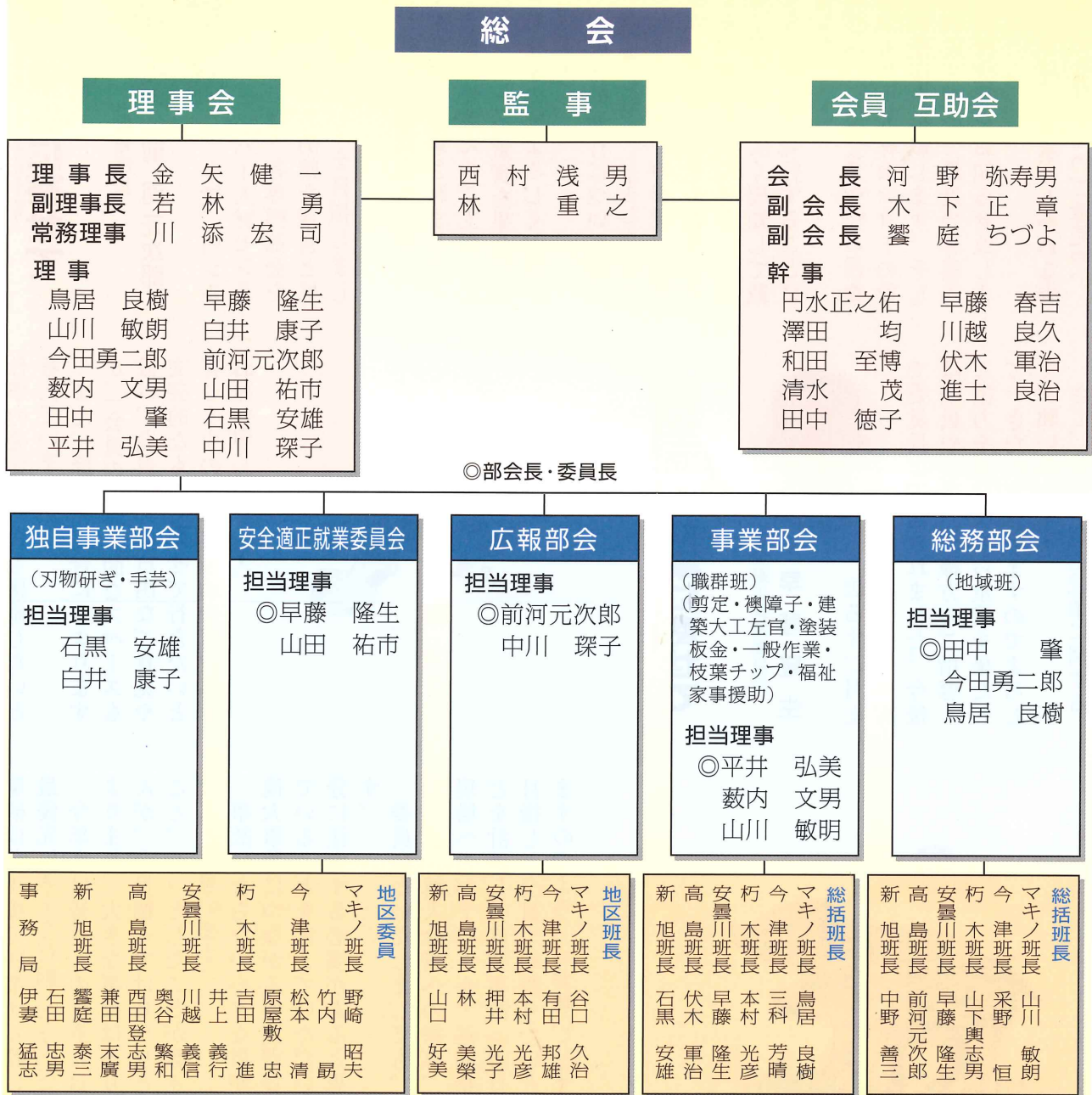


独自事業担当理事  
石黒 安雄

独自事業とは、センターにおける受託事業に対比する事業として呼称されています。独自事業は会員の就業機会を拡大し、確保する為に、センターの自主的・事業として会員の創意と工夫により企画し、実施するものであります。従って一口に独自事業といっても幾多の問題点が多々あります。

受託事業であれば、一日の就業のあと報告書を提出すればそれに応じた支払いがなされますが、独自事業の場合、一つの事業が完成した上で配分金の支払いがなされますし、資金面についても若干の出費を覚悟しなければなりません。いくら創意と工夫、過去の経験を生かして臨んでみても事務局及び本部の積極的な支援・協力がないと成り得ないと思えます。そういった相互の理解の上での推進が望まれるように思います。今後は会員諸氏の智恵と開拓心を糧に、新規事業への取り組みを考えていきたいものです。

# 平成18・19年度 (社)高島市シルバー人材センター会員組織機構図



人に愛され、仕事による喜びを感じ、る団体をめざして



常務理事 事務局長  
**川 添 宏 司**  
(社)高島市シルバー人材センターが発足し早いもので、二年が経とうとしています。旧の六町村が一つになり、それぞれ特徴のある運営をしていながら、急に一本化されることに会員の皆様も困惑されたことと思います。  
大きな変化にもかかわらず、皆様のご協力で順調に推移し、行政からも、お客様からも厚い信頼を受け、期待されるシルバー人材センターとして存在感が高まっております。  
この度、広報部会が設置され、広報誌を発刊するに至ったことは、誠に喜ばしいことで、広報誌を通じ、会員の皆様にセンターの現状やいろいろな情報をお伝えでき、また、広く一般の市民の方にもPRができるものと確信致しております。

団塊世代の人々が定年を迎える年と言われ、今後私たちの新しい仲間として入会が予想される時期にセンターの活動に必要な部会が設置され、公益法人としての体制を整え、益々充実した団体として邁進できるものと思っております。  
高齢化率の高い高島市にとって、重要な団体としての位置づけが得られ、また、その責務は重大であると思えます。  
組織図をご覧頂き、どの部会で活躍できるかご自分で活動の場を求めてください。  
会員の皆様の積極的参画により、シルバーの基本理念である自主・自立・共働・共助で素晴らしいセンターを目指したいと思います。

## 襖・障子張り講習会

11月、新旭で襖・障子張の技術習得に努めました。最初は戸惑いながらも出来ばえはシワのないプロの技。



## 寄せ植講習会

12月、各支所単位でお正月用の花の寄せ植を楽しく実施しました。



## 剪定講習会

10月に安曇川、11月に高島・マキノ、12月に朽木で実施。松、イチョウ、椿、紅葉等…。見違えるようになりました。



## 手芸教室講習会

12月、新旭・安曇川・今津でクリスマスリースを作りました。サンタも喜ぶかな？



## 会員の募集

シルバー人材センターは「知識や技能・経験などを活かして働く機会を得たい」「社会に役立つ仕事をしたい」「何らかの収入を得たい」という高齢者が会員となり、公共団体・企業・事業所・家庭などからの臨時的・短期的な仕事又は軽易な業務を会員の能力や経験に応じて提供できる事を通じてその生きがい高め、社会参加を通じて活力ある地域社会作り貢献する事を目的とした公益団体です。



# 互助会発展のために



互助会会長  
河野 弥寿男

互助会の皆さん、元氣一杯で就労にお励みの事と、お慶び申し上げます。

平素は高島市シルバー人材センターの事業にご支援、ご尽力賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、互助会発展のために会員さんにおかれましては、どんな小さな事でも前向きな意見をお聞かせ下さい。会が一步でも飛躍につながるれば幸甚でございます。

今後の事業としましては、年明け二月頃に会員皆様の親睦を図る目的で、日帰り昼食会（かに食べ放題）や前回好評でありましたグランドゴルフ大会（今津）を開催させて頂く予定です。各地区幹事よりお声がかかりましたら気軽にご参加下さい。

最後になりましたが、会員皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。シルバーは生涯現役です。皆さんと共に楽しく励みましよう。

## お仕事を依頼される方、入会を希望される方は、下記の事業所へご連絡下さい

### ◎本部

所在地 勝野1365番地  
☎0740-36-8191  
(高島老人福祉センター内)

### ◎マキノ支所

所在地 マキノ町蛭口1371番地  
☎0740-27-1910  
(マキノ老人福祉センター内)

### ◎今津支所

所在地 今津町弘川204番地1  
☎0740-22-9055  
(今津老人福祉センター内)

### ◎朽木支所

所在地 朽木市場676番地  
☎0740-38-2607  
(社会福祉協議会朽木支所内)

### ◎安曇川支所

所在地 安曇川町田中459番地  
☎0740-32-2957  
(社会福祉協議会安曇川支所内)

### ◎新旭支所

所在地 新旭町旭734番地2  
☎0740-25-8258  
(ほおじろ荘内)

## 会員の広場

### 素晴らしい作品の数々

6年前に習い始めた『ちぎり絵』が、随分たまったので写真に撮り今年のカレンダーを作りました。

安曇川 押井光子さん



瓢箪を作って16年、シルバー展にも出品しました。

今津 松本 清さん



## 編集後記

(社)高島市シルバー人材センターが発足し、組織充実のため、各専門部会を立ち上げて、事業的的確な運営と拡充強化を図る事となりました。

広報部会では、会員相互の「絆」を深めるために大切なものと考え、年間を通じて四回程度の広報誌を発行する予定です。担当者一同いろいろと検討した結果、無事、創刊号を発行する運びとなりました。皆様に楽しんで頂けるように工夫していきたいと思っております。今回の発行を機に皆様の原稿、趣味、就業の様子など、たくさん載せていきたいと思っておりますので一層のご愛読とご支援とご協力の程よろしくお願いいたします。(題字は前冨元次郎さんに書いていただきました)

広報部会



苦勞して生まれた  
シルバー高島創刊号